

## 平成30年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年3月13日

上場会社名 株式会社ウエスコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6091 URL http://www.wescohd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山地 弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 永山 彰 TEL 086-254-6111  
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年7月期第2四半期の連結業績（平成29年8月1日～平成30年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第2四半期	3,214	9.3	△101	—	△53	—	△42	—
29年7月期第2四半期	2,940	21.2	△134	—	△66	—	△57	—

(注) 包括利益 30年7月期第2四半期 △21百万円 (—%) 29年7月期第2四半期 △17百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第2四半期	△2.78	—
29年7月期第2四半期	△3.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
30年7月期第2四半期	15,859		12,414		78.3
29年7月期	16,892		12,617		74.7

(参考) 自己資本 30年7月期第2四半期 12,414百万円 29年7月期 12,617百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年7月期	—	0.00	—	—	—
30年7月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年7月期の連結業績予想（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	1.5	550	△9.5	650	△3.8	600	△31.5	39.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年7月期2Q	17,724,297株	29年7月期	17,724,297株
② 期末自己株式数	30年7月期2Q	2,656,264株	29年7月期	2,654,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年7月期2Q	15,068,638株	29年7月期2Q	15,056,308株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記業績予想に関する資料は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（その他特記事項）

該当事項はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、輸出が堅調に推移し、企業収益や雇用環境の改善などを背景に、全体として緩やかな回復基調にて推移しました。

このような経済環境のなか、当社グループを取り巻く市場環境におきましては、当社グループの主力事業である総合建設コンサルタント事業における公共投資予算は、一部の分野において増加の状態が継続しており、当第2四半期連結累計期間におきまして、前年同四半期と同程度の規模にて推移しております。

これらの状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、32億1千4百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。損益面におきましては、営業損失は1億1百万円（前年同四半期は1億3千4百万円の営業損失）、経常損失は5千3百万円（前年同四半期は6千6百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4千2百万円（前年同四半期は5千7百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業であります総合建設コンサルタント事業は、その受注の大部分が官公庁からのものであり、受注業務の納期は官公庁の事業年度末である3月に集中しております関係上、当社グループの売上高は第3四半期以降に集中する傾向があります。また、指定管理事業においては、神戸市立須磨海浜水族園の管理運営を行っており、春や秋の行楽シーズンやゴールデンウィーク、夏休み期間に来園者数が多いことから、売上高についても第1四半期および第4四半期に多くなるといった季節的変動があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度に比べ10億3千2百万円減少し、158億5千9百万円となりました。

流動資産については、「現金及び預金」が30億2千2百万円減少し、「未成業務支出金」が19億2千4百万円増加しております。これは当社グループの主体である総合建設コンサルタント事業の売上高が、主要顧客である官公庁の事業年度末である3月に集中するため、たな卸資産が増加する傾向にあり、また連動して入金よりも支払が先行するため、現金及び預金が減少いたします。結果として、流動資産合計では前連結会計年度に比べ8億4千6百万円の減少となりました。

固定資産については、公社債等の売却などにより「投資有価証券」が1億7千8百万円減少しております。結果として、固定資産合計では前連結会計年度に比べ1億8千6百万円の減少となりました。

#### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度に比べ8億2千9百万円減少し、34億4千4百万円となりました。

流動負債については、「業務未払金」が5億1千7百万円、「受注損失引当金」が2千9百万円それぞれ増加し、賞与等の支払により「その他」に含めております「未払金」が9億5千5百万円、税金の納付により「未払法人税等」が2千2百万円それぞれ減少しております。結果として、流動負債合計では前連結会計年度に比べ8億5千8百万円の減少となりました。

固定負債については、投資有価証券の時価評価差額が増加したことにより、「その他」に含めております「繰延税金負債」が8百万円増加しております。結果として、固定負債合計では前連結会計年度に比べ2千9百万円の増加となりました。

#### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度に比べ2億3百万円減少し、124億1千4百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上および配当金の支払により「利益剰余金」が2億2千2百万円減少したことが主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、平成29年9月13日に公表しました連結業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,853,263	2,831,015
受取手形及び完成業務未収入金	597,177	552,307
有価証券	799,753	900,398
商品	3,273	4,866
未成業務支出金	1,980,574	3,905,105
販売用不動産	27,000	27,000
原材料及び貯蔵品	17,776	19,538
金銭の信託	300,000	400,000
その他	695,003	787,873
貸倒引当金	△7,294	△7,609
<b>流動資産合計</b>	<b>10,266,528</b>	<b>9,420,497</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,314,432	1,286,289
土地	1,880,367	1,880,367
その他(純額)	298,414	268,824
<b>有形固定資産合計</b>	<b>3,493,214</b>	<b>3,435,481</b>
無形固定資産	101,846	109,433
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,821,981	2,643,122
その他	216,554	257,256
貸倒引当金	△7,872	△6,252
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>3,030,663</b>	<b>2,894,125</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>6,625,724</b>	<b>6,439,040</b>
<b>資産合計</b>	<b>16,892,252</b>	<b>15,859,537</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
業務未払金	588,373	1,105,911
未払法人税等	60,166	37,850
未成業務受入金	1,135,390	1,142,126
受注損失引当金	387	29,496
その他	1,736,920	346,948
流動負債合計	3,521,238	2,662,333
固定負債		
訴訟損失引当金	502,015	502,015
資産除去債務	48,800	49,113
その他	202,380	231,306
固定負債合計	753,196	782,434
負債合計	4,274,435	3,444,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	400,000	400,000
資本剰余金	9,802,311	9,802,318
利益剰余金	2,879,313	2,656,475
自己株式	△669,441	△670,120
株主資本合計	12,412,183	12,188,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205,633	226,095
その他の包括利益累計額合計	205,633	226,095
純資産合計	12,617,817	12,414,769
負債純資産合計	16,892,252	15,859,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
売上高	2,940,538	3,214,640
売上原価	2,179,913	2,375,726
売上総利益	760,625	838,914
販売費及び一般管理費	894,742	939,947
営業損失(△)	△134,116	△101,033
営業外収益		
受取利息	13,983	8,705
受取配当金	5,213	7,894
投資有価証券売却益	34,115	14,407
受取地代家賃	7,339	6,934
売電収入	2,458	2,483
その他	7,723	9,766
営業外収益合計	70,835	50,191
営業外費用		
賃貸費用	757	757
売電費用	1,926	1,439
その他	111	160
営業外費用合計	2,795	2,357
経常損失(△)	△66,076	△53,199
税金等調整前四半期純損失(△)	△66,076	△53,199
法人税、住民税及び事業税	△8,718	△11,197
四半期純損失(△)	△57,358	△42,001
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△57,358	△42,001

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成30年1月31日)
四半期純損失(△)	△57,358	△42,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,911	20,462
その他の包括利益合計	39,911	20,462
四半期包括利益	△17,447	△21,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,447	△21,539
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△66,076	△53,199
減価償却費	117,167	123,074
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,083	△1,304
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△954	29,108
受取利息及び受取配当金	△19,197	△16,599
投資有価証券売却損益(△は益)	△34,115	△14,407
売上債権の増減額(△は増加)	△154,907	44,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,756,666	△1,927,886
仕入債務の増減額(△は減少)	349,575	517,537
未成業務受入金の増減額(△は減少)	57,261	6,736
その他	△1,152,206	△1,430,722
小計	△2,661,205	△2,722,793
利息及び配当金の受取額	20,029	16,621
法人税等の支払額	△218,864	△59,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,860,040	△2,765,735
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△55,101	△11,101
投資有価証券の取得による支出	△13,151	△300,931
投資有価証券の償還による収入	50,000	—
投資有価証券の売却による収入	668,290	423,222
有形固定資産の取得による支出	△114,745	△63,253
無形固定資産の取得による支出	△15,444	△17,976
貸付金の回収による収入	1,527	1,500
その他	△4,388	2,364
投資活動によるキャッシュ・フロー	516,986	33,824
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△149,544	△180,124
自己株式の取得による支出	△72	△691
自己株式の売却による収入	9,500	20
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,682	△20,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	△157,799	△201,432
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,500,853	△2,933,343
現金及び現金同等物の期首残高	5,877,443	6,828,314
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,376,590	3,894,970

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて法人税等を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。